

●とびくす●

公益社団法人としての基盤づくり

公益社団法人徳島県建築士会 会長 佐藤 幸好

会員の皆様、明けましておめでとうございます。皆様に於かれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

徳島県建築士会は、昭和27年1月5日に社団法人として設立されて約62年になります。この間、設立趣旨としての建築士の品位の維持向上と業務の進歩改善を図ることを目的に、月刊会誌「阿波まちかど」の発行をはじめ、講演会や見学会、地域貢献活動助成事業、無料建築相談等多くの事業を展開してきました。また、研究会活動では、阿波まちなみ研究会、徳島アーバンデザイン研究会、バリアフリーデザイン研究会、OA研究会、構造研究会と共に、最近発足した木造建築研究会や地域防災研究会も活発に貢献活動を始めています。さらに、建築士会は、設計事務所、建設業、公務員等の職域や職業上の地位を問わず、建築士の資格者全てが、平等に会員となっています。こうした幅広い職域の建築士により構成されている建築士会の活動は、建築業界全般に与える影響だけでなく、自治体や他のまちづくり団体への影響力は、ますます高まっています。このように、建築士会は、会員のための有効な技術的、情動的支援にとどまらず、様々な研究会の活動を通じて、徳島県の建築・まちづくりをより発展させ、県民の社会生活のための住環境を整備する等の、社会的使命を達成するために、これまで社会的貢献活動に取り組んできました。

そして、昨年4月1日に徳島県建築士会は、62年の歴史を継承しつつ、新たな組織である公益社団法人として生まれ変わりました。これからの建築士会の重要な役割は、これまで実施してきた社会的貢献活動を継続、展開すると共に、より地域に密着した貢献活動を拡大することです。そのためには、建築士や建築士会が、職能や県下全域に渡るネットワークを生かした社会貢献活動を展開することで、自治体から信頼され、建築行政やまちづくり施策において、常に建築士会が協働できる団体となることが重要であると考えています。

一般の総選挙では、自由民主党が圧勝し、これから「地域創生」の掛け声とともに、地域活性化に向けた取り組みが始まりそうです。地域創生の根幹は、地域が抱えて

いる住民の日常的な暮らしの快適性、安全性や豊かさをどれだけ高められるかが、重要な課題であると考えます。その日常的な暮らしを支えているのが、地域の街や住まいです。そして、その地域のまちづくりや住まいづくりを担っているのが、地域の建築士であると考えます。しかし、その地域の課題を担うべき、自治体には建築士の資格を持った職員が少ないのが実情です。こうした状況では、建築・まちづくりに関する行政課題を解決することが難しくなってきます。そこで、建築士会は、建築士で組織する公益社団法人として、また、多様な職域の人材を要する団体として、自治体の建築・まちづくりに関する行政課題の解決に向けた取組を補完し、支援することが大切な役割であると考えています。

今年も昨年に引き続き、こうした基本的な考え方のもと、重点的的事业として「災害対策に係る自治体業務の支援」である3つの事業を実施したいと考えています。

- ①住まいの安全・安心リフォーム推進事業の拡大
・徳島県が平成24年度からスタートした、木造住宅の簡易な耐震化事業である本事業を県内全域へ拡大をする。
- ②応急危険度判定士の拡充と役割の拡大
・各地で講習会や訓練を実施し判定士の増員と技術の向上を図る。
・避難所開設における危険度判定を地域の建築士が実施するための市町村との協定締結を拡大する。(美馬市、つるぎ町、吉野川市、牟岐町、鳴門市、美波町と締結済)
- ③事前復興計画づくりに向けたモデル自治体との共同研究の実施
・地域材を利用した応急仮設、復興住宅の住戸プラン仕様、配置等の計画、地域材の供給体制の構築提案
・コミュニティ単位の津波減災対策等の提案や高台移転事業等減災対策に係る助言・提案

このような地域の行政課題解決に向けて、自治体と各地域会や各研究会が連携し、協働する実践活動の継続こそが、地域で信頼される専門家集団として、公益社団法人の基盤が創り上げられると考えています。会員の皆様にはどうか、昨年以上に多大なご協力とご支援をお願い致します。「連 (REN) is more…」

第4回 市民と行う 鳴門市「ユニバーサルデザイン点検会」

鳴門地域会 南 佳孝

今年度より鳴門地域会青年部長を引き継ぎました南佳孝です。皆様これからよろしくお願ひします。さて、去る11月8日(土)に、うずしお会館(旧鳴門地域地場産業振興センター)にて第4回市民と行う鳴門市「ユニバーサルデザイン点検会」を開催しました。地域貢献活動事業として平成23年に鳴門市文化会館を点検してから4回目になります。日常利用する公共施設を市民の皆さんと点検を行い、ワークショップにて、誰にでも使いやすい施設であるかを市民のみなさんと考えてきました。今年も総勢70名程のみなさんに参加していただきました。参加者は高齢者、車いす使用者、視覚障害者、中学生、高校生、大学生、鳴門市(担当課)、徳島県(担当課)と、たくさんの人たちに参加していただきました。

まず、ユニバーサルデザインについて矢部さん、河村さんにレクチャーをしていただきました。わかりやすい解説に進行役の私まで聞き入ってしまいました。

点検の前に車椅子使用者の浅野高弘さんによります、車の乗り降り、玄関までのアプローチ方法の実演をしていただきました。車椅子使用者の方が一人で車に乗り降りする姿を見るのは、ほとんどの方が初めてだったと思います。市民の方から沢山の意見が出ました。



▲車椅子使用者による実演

3班に別れ、うずしお会館の1階から5階・駐車場の点検を行いました。1階は観光協会が有り、お土産・特産品が売られて、J1へ昇格したヴォルティス特需を意識したりリニューアルを去年に行われていました。(J2降格涙) 2階は貸館となっており、日常的に市民が利用する施設であります。玄関へのアプローチ、誘導サイン、室内の段差、多目的WC、EV、階段と、みなさん真剣

に点検を行っていたので時間があっという間に過ぎていきました。点検以外にも体験コーナーを設け、鳴門地域会支部長の友枝さんにより、カラーユニバーサルデザインについて説明していただき、高齢者擬似体験もしていただきました。



▲バリアントールをつけて色弱者体験



▲高齢者擬似体験

ワークショップでは沢山の意見が出ました。3班それぞれに違う視点で、意見がまとめられていました。(優秀なファシリテーター・サブファシリテーターに拍手です) 途中、サプライズ登場の泉市長は、この点検会を重要と位置づけ、改善案に対し毎年動いていただいております。私自身この事業を通して鳴門市との連携が強くなっていくのを感じております。最後になりましたが、今回の点検会へ御協力いただきましたバリアフリーデザイン研究会の皆様、徳島地域会青年部の皆様(頼りになります!）、大変ありがとうございました。鳴門地域会青年部の皆様お疲れ様でした!

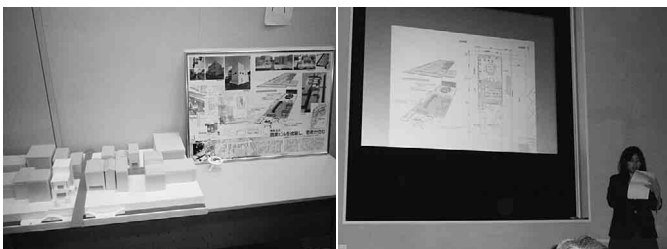
高校生の「建築甲子園」徳島県予選会 + 建築講演会

阿南那賀地域会 藤高 亜紀

11月23日、第5回「建築甲子園」に初めて参加してまいりました。建築甲子園というイベントがあるのは知っていたのですが、実際どのようなことをしているか観てみたかったので、楽しみにして行きました。（「建築甲子園」の詳しいことは阿波まちかど、2012年10月号、岸田氏によるたよりをご覧ください）

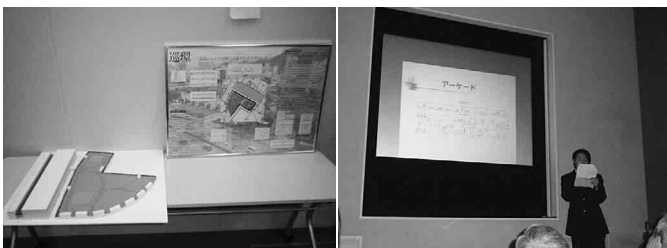
今回は科学技術高校の総合デザインコースから2組、建築コースから1組の生徒さんがエントリーされていました。

まずは総合デザインコースの1組目。佐古にある商業ビルを改築し若者が住んで地域とコミュニケーションできるような空間を持つ住まいを提案していました。佐古1～3番町はことぶき商店街といわれ、昔は多くの人が行き来する街だったそうです。しかし少子高齢化で定住する若者が少なくなり同年代のコミュニケーションがとりづらくなっているのが現状。そんな街に地域に開放する空間があればいいなということで1階を図書室、おもちゃの工房、あと野菜市やフリマができるような多目的空間を設け、2階は若者の住居というプランを提案していました。



▲1組目 ～徳島佐古 商業ビルを改築し、若者が住む～

2組目も総合デザインコースから。徳島駅前ポッポ街を昔のような賑やかさをとりもどすために、駅前からポッポ街を含み、藍場浜公園までの都市開発プロジェクトを提案していました。ポッポ街の上部をワンルームやシェアルーム、家族住まい等いろいろなパターンの居住スペースにし、各フロアーにはスーパー、カラオケボックス、託児所、学習塾、飲食店、図書館、美術館、映画館、etc... そしてアミコラインパーク上部を公園にし、藍場浜公園とポッポ街を繋ぐという壮大なプロジェクトを考えてました。これが実現すれば活気のある駅前になる



▲2組目 ～巡環 徳島にふたたび新たな賑やかさと出会いを～

だろうと思いました。

3組目は建築コース。開創1200年になる四国八十八カ所霊場。バスや車で一周を数日で周れる現代、いまだ歩きで周っている人を時々みうけられます。そういう方にむけて、休憩や宿泊ができるスペースを、ここでもちょっと寂しくなっている西新町の北側あたりに計画していました。近所の方々も利用できるよう集会場もあり縁側でのんびりできるスペースも設け、お接待が自然とできる空間が考えられていました。2階はそこを運営する方の住居となっており、常に人の気配を感じられるので、安心して立ち寄れるのではないかと思います。



▲3組目 ～まけまけいっぱいのお接待～

3組の発表が終わり、続いてカワグチテイ建築計画の川口有子さん、鄭仁愉さんの講演会。お2人は今、東京一徳島と2つに拠点を置き活躍されております。この度は2つの公共建築のプロポーザルについてお話いただきました。

まずは千葉にある市原湖畔美術館。バブル時代に造られて20年足らずで持て余されてしまった建物の再生。元の建物に持ってなかった新しいカタチを生みだし、以前も美術館だったのに、光の取入れ方や動線、展示の仕方をうまく考えなおされており、見た目もあのバブル時代に良く流行っていた派手な外観から一新。現代的なカッコ良い建物に変身していました。芝生の庭も広く何度も訪れたい美術館だと思います。

もう1つは、美波町医療保健センター。日和佐高校の跡地に計画中の建物です。海に近い場所なので津波に配慮して施設は2階以上とし、1階は駐車場や町の人が見えるフリースペースとなっており、前には公園もあるのでのびのびとした大らかなプランとなっていました。完成するのが楽しみです。

貴重なお話を聞かせてもらった後は、いよいよ結果発表。徳島県代表は建築コース「まけまけいっぱいのお接待」に決定しました。勝因は八十八カ所巡りというのが全国的に知られているので分かり易いのではとのことでした。しかしどのチームもクオリティーが高い!!最近の高校生は凄いなと思いました。

最後にラッキー抽選会があり、早いもん勝ちで科技高生が造った木馬をゲットしました!! まさにラッキー 建築科の皆さん、全国大会で頑張ってきてね。

●支部（地域会）だより●

建築士会・小松島勝浦地域会 活動報告

小松島勝浦地域会・青年委員長 時本 昌典
(代行執筆 今岡賦史)

当地域会の青年委員長・時本氏から支部だよりの執筆依頼を拝命した、今岡賦史です。

当地域会での活動報告を、ご報告致します。

■ 独特なる、当地域会の特徴は…

当地域会の特徴として、設計を業とする会員様が少ないという、悲しい諸事情があります。

私が、支部青年部部長（数年前）の時、他の支部様の活動を視察するべく、あちこちとって見たものは…各地域に、カリスマ的支部長様がいて、活動を支える事務局様（主に、設計を業とする会員様のご自宅にて）の存在でした（当時の名称で、板野・川島・美馬支部様）。

当地域会では、また、異なる活動方法が求められます。

そこで、資材販売会社で勤務している私と庄野章夫氏は正会員ですが、勤務する会社が賛助会員になることにより、『正会員ではできない活動』を可能にしました。

■ 賛助会員活動①（地域会・会員様への内なる活動）

私の所属する資材販売会社では、複合金属サイディングメーカーとして、アイジー工業様を取り扱っております。

メーカー様主催の展示会視察ツアーを利用して、道中にある石膏ボードメーカー様（吉野石膏・神戸技術センター）へも立ち寄る視察ツアーを企画しました。

日々、使用している石膏ボードの『工法』・『防耐火』・『遮音』含め、住宅資材で、一番重要性の高い石膏ボードの理解度UPに貢献致しました（H25年7月17日）。



▲縁の下の力もち、石膏ボードを知る（音響体験室撮影）

■ 賛助会員活動②（地域会・会員様への内なる活動）

賛助会員の特徴として、金属屋根材・外壁材製造という『(小規模)メーカー』という製造・販売部署があります。

いままで、性能データありませんが、性能あるでしょう…という販売でしたが、建築士資格取得に伴い、建築士会・建築士事務所協会の会員様から、厳しくも暖かいご指導を受け、『建築資材販売としての心得』を知り、その上で、『公的第三者機関による性能確認』を実施した次第です。

今回、銅板製外壁材の耐風圧性能試験の見学会を実施しました（H24年3月13・14・15日うち、2日間）。



▲施行令39条・82条の4項に基づき、耐風圧性能を確認

■ 地域会活動（当時は支部ですが・・・）の課題と今後

活動内容としては、『地域会・会員様への内なる活動』であり、世間一般に対しての活動ではありません。

しかし、内容としては、建築資材(素材 石膏ボード)の重要性の理解(防耐火・遮音等)、台風に対する強さ(耐風圧)という、建築に関して重要事項説明に該当します。

このような活動を、如何にして、世間に公開し、建築の重要性を理解して頂くには、どうすれば良いのか？

今後、公益性の高い活動へ展開していくには、地域会の会員様の得意分野でのご協力が必要不可欠であります。

当地区には、RC建築を得意とする会員様はじめ、湿式建材の工事を得意とする正会員兼賛助会員様、製材業を営む会員様が在籍しておりますので、是非とも、各々の得意とする職能（建築技術）をベースとして、ご協力をお願い申し上げます。また、地域会活動に対し、ご無沙汰の会員様も、お待ちしております。

最近の出来事

海部地域会 由岐分会 本田 郁也

あなたが出番と言うことで、私の身近な出来事等感想をまじえてご紹介したいと思います。

12月6日に、海陽町浅川のまぜの丘を主会場とした「平成26年度南部圏域防災訓練」が実施されました。

この防災訓練は毎年実施されていて、私自身も毎回なんらかの形で参加しています。

今年は、唯一の趣味である釣りの大会と日程が重なり、ヒヤヒヤでした。

さて、防災訓練ですが、県西部の大雪等緊急出動による一部中止等ありますが、陸上自衛隊、徳島県警、県南部市町村、副会場となった海陽町国民健康保険海南病院をはじめ各総合病院、及び消防、防災、福祉協議会等々各団体の参加協力のもと、滞りなく開催されました。



私の役目は、模擬倒壊建物の製作で、事前準備の裏方なのですが、今年は1階が倒壊した2階建て住宅の模型を造りました。

解体した木造住宅を主材料としたので、見た目はあまり良くないですが、前年用意した廃材集積物よりグレードアップしています。

下の写真は倒壊住宅から負傷者を救出する訓練です。

この他、負傷者をヘリコプターで病院へ搬送したり、警察の誘導、障害物の除去、電気や電話回線の復旧、炊き出し等、訓練盛沢山でした。

ちなみに炊き出しのカレーライスと、どんぶりは結構



おいしかった。

今年は、各地域の防災訓練と重なった(連携?)ため、一般の方の会場見学者が例年に比べ少なかったのが少し残念ですが、退屈する間なく時間が過ぎ、結構充実した1日となりました。

各地域でいろんな形で防災訓練が実施されていることと思いますが、防災意識が高まることを期待して今後も参加協力していきたいと思っています。

もう1つ、先に述べた釣り大会について少し書きます。

仕事の合間を見つけては堤防、浜辺等へいそいそと出かけて釣りをしています。とは言っても、貧乏暇なしで、なかなか出かけることができません。なので釣り大会がある時は、仕事を投げ出し最優先でスケジュールに組み込みます。

参加している数少ない磯釣り大会の1つが防災訓練の準備日と重なりバタバタしましたが、携帯電話電源 OFF していざ出発!。意気込んで出たけどあまり釣れずに退屈しながらの釣りになり、案の定、釣果報告で順位は下の方でした。

帰りの車に乗り込んで、携帯電話電源 ON したら着信履歴が数珠なりで、以降の対応四苦八苦。

先代の頃は、建築士会に限らず、所属しているところではイベントなど沢山あったように聞いています。最近は各団体とも会員不足が深刻で、思うような活動ができないのが現実のようです。

事実私自身、参加すれば本業後回しになるため、なかなか踏み出せずにいます。

皆さんも同様のことと推察し、活動に活気がないのが少し残念に思います。

●士会だよりー本部●

住宅省エネルギー技術講習会の開催

国交省では「住宅省エネ化推進体制強化事業」を推進しており、新築住宅における省エネ基準適合率を平成32年度までに100%とすることを目的として、適切な省エネ住宅の設計・施工に携わる技術者を養成しています。

つきましては、技術講習会を以下のとおり開催いたしますのでご受講くださいますようお願いいたします。

- ・日 時 平成27年1月21日(水) 9:30~17:00
 - ・場 所 徳島県建設センター3F 菊の間
 - ・参加費用 1,000円
 - ・主 催 徳島県木造住宅推進協議会
 - ・申込期限 平成27年1月14日(水)
- ※別紙申込書がありますので、士会事務局までお問い合わせください。

●士会だよりー徳島支部●

平成26年度中四国スキーツアーのご案内

今年もまたスキーツアーの季節がやってきました。中四国の建築士が集い、スキーを楽しみます。子供さんや初心者の方も歓迎です。カニも食べ放題です！多くみなさまのご参加をお待ちしております。

- ・日 時 平成27年2月14日(土)・15日(日)、14日早朝発
- ・場 所 ハチ北スキー場 (内湯旅館 SASAYA 泊)
- ・参加費 約25,000円/人 (宿泊費、朝食、夕食、バス代等含む)
※リフト券及びレンタル代金は含まれません。
- ・申 込 平成27年1月20日(火)までに 本部事務局まで

●士会だよりー本部●

平成26年度専攻建築士新規・更新案内

(公社) 徳島県建築士会 CPD 制度促進部会 岸田徳明
平成26年度総会でも御連絡をいたしました平成26年度専攻建築士の新規・更新者の受付を来年初旬より行います。

- 受付期間
平成27年1月5日から2月28日まで
- CPD 単位取得期間
改正案に伴い、CPD 単位取得期間を従来の前年4月1日から申請年の3月31日までの期間としていましたが、前年の1月1日から申請年の前年の12月31日までに取得した単位と

します。
(今年度は平成26年1月1日~12月31日までの CPD 取得期間が対象となります。)

- 新規認定要件
5年の実務経歴、3件の実務実績、CPD12単位
- 登録更新要件
直近5年間の CPD60単位のみとします。(新たに実務実績の審査はいたしません。)
- 登録、更新費用 (税別)
- ①新規 16,000円 (バッチ・カード込み)
 - ②更新 (申請書による窓口申請) 12,000円
 - ③更新(WEB 申請*割引適用) 9,000円
- ※更新時のカード、バッジは任意 (認定・登録料と別枠実費) と WEBでの更新申請の導入により、申請者の負担軽減につなげます。ご不明な点があれば建築士会事務局へ問合せください。

●科学技術高校からのご案内●

平成26年度 建築コース展

- ・日 時: 平成27年1月31日(土) 9:30~17:00
2月 1日(日) 9:30~16:00
- ・場 所: 徳島県立二十一世紀館 1階ギャラリー

●士会だよりー本部●

第14回 お菓子の家を作ろう

- ・日 時 平成27年1月24日(土) 13時~16時
 - ・場 所 徳島科学技術高等学校 家庭科室
- ※今回は建築コース1年生を対象に開催いたします。
※次回編集会議は1月23日(金) 16時30分から

編集後記

- ・「おもちを食べ過ぎないように」って昔の年賀状によく書いてありましたよね。今も時々あります。(ノーリツ号)
- ・皆さんあけましておめでとうございます! (tekitoku)
- ・今年もがんばるぞ! (ちりめん)
- ・今年ががんばらんぞ!! (酎西)
- ・源子さん、おめでとー! (ぺべい)
- ・お誕生日のお祝いありがとうございました! (源子)
- ・いやあめでたい! (ひとはたうさぎ)

建築士会本部行事案内 平成27年

1 月		2 月	
7日(水)	第5回常任理事会 新年挨拶まわり (士会事務局)	1日(日)	平成26年度建築コース展 (徳島県立二十一世紀館1階ギャラリー)
9日(金)	安心リフォーム相談 (士会事務局)	6日(金)	安心リフォーム相談 (士会事務局)
14日(水)	建築相談 (士会会議室)	11日(水)	建築相談 (士会会議室)
16日(金)	安心リフォーム相談 (士会事務局)	13日(金)	安心リフォーム相談 (士会事務局)
21日(水)	省エネ技術講習会 セビア (建設センター) (士会会議室)	14日(土)~15日(日)	スキーツアー (ハチ北スキー場)
22日(木)	住宅の「長寿命化リフォーム」セミナー (建設センター)	18日(水)	第3回建築士定期講習 セビア (士会会議室)
23日(金)	安心リフォーム相談 (士会事務局)	20日(金)	安心リフォーム相談 (士会事務局)
28日(水)	二級免許授与式 建築相談 (士会会議室) (士会会議室)	21日(土)	横内敏人氏建築講演会 (建設センター)
30日(金)	安心リフォーム相談 (士会事務局)	25日(水)	建築相談 (士会会議室)
31日(土)	平成26年度建築コース展 (徳島県立二十一世紀館1階ギャラリー)	27日(金)	安心リフォーム相談 (士会事務局)